

私が生れた昭和十(1935)年頃の南千住では、まだイタチにここかしこで出会いました。コウモリやヘビやトカゲ等も町中で見かけました、

母(1905年生まれ)の話では、三ノ輪の弁天池(ジョイフル三ノ輪商店街の区立南千住第一中学校前辺りにあった大きな池で、後に銭湯(弁天湯)が営業)が、大正初めに埋め立て事業が始まり、大量のヘビが毎日毎日大きな桶に入れて運ばれるのを見に行ったそうです。ある日、3m位の白蛇が捕らえられ、周辺の人々が大勢見物に押し寄せ、「弁天池の神様だ」と大変な騒ぎであったと話していました。

林丈二著「東京を騒がせた動物たち」(明治

元年)明治45年までの新聞に登場した動物の記事をまとめた本)を読むと、南千住は隅田川の縁(へり)に位置し湿地帯の為か「へび」の話が多く出てきます。敗戦前の南千住の日常では、馬・牛・鶏・雀・鳥・犬・猫・鼠(ねずみ)を見かけましたが、現在では、馬・牛・鶏が日常生活の中ではないなくなり、犬猫がやたらと目に付くようになりました。

明治二十年まで、狐・狸・貉(むじな)を日常で見かけましたが、その後消えてしまいました。生活できる環境がなくなってしまったのですね。

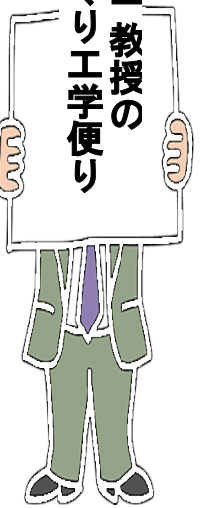
ただ明治三十二年十月三十日の「都新聞」に汐入の胡禄神社(旧名大六天)の大祭で、昼は神楽、村芝居が行われ、夜には「カワウソ」退治の催しと鯉の寄網の余興があったと報じられています。これが最後のカワウソ狩ではなかったかと思われまます。現在では、日本全国カワウソは絶滅して一匹もいないようです。それに比べ、鮰(いたち)は敗戦前にはよく見かけました。それは、まだエサのネズミや鶏が沢山いて、住処(すみか)の縁の下(家屋のえんがわ)がいっぱいあったので、生き延びたのでしょう。狐も狸も人間の縁の下に犬と同じように生活していたようです。

明治十九年四月頃、淨閑寺で化物が出ると評判になり、浅草署の巡査が夜中にこの怪物を生捕りにすると、三尺ほどの大狸であったと報じられています

平成十七年一月の原稿を再度掲載致しました。

☆六郎が語る☆  
南千住一口話  
特別編 第57回

吉田喜一教授の  
ものづくり工学便り



荒川区におけるリサイクル産業

産技高専名誉教授 吉田喜一

昭和30(1955)年、日暮里・三河島地域には、紙屑及び雑誌選別業者合わせて350軒、ボロ取扱業者250軒の、合計600軒がありました。屑は関東各地から日暮里方面へ集まり、その後選り分けられて、製紙・製綿原料あるいはウエスや工業用手袋として再生されました。

昭和39(1964)年東京オリンピックが開催され、東京の市街地の美観保持と衛生上の理由から、各家庭の道端に置かれていた『ゴミ箱』が撤去され、指定曜日に回収する方法に代わりました。これが拾集人(いわゆる『くず屋』)の『仕事場』を失わせ、その激減となりました。

高度経済成長後の昭和40年代からチリ紙交換が都内に広まりました。従来の各家庭を対象に、大八車やリヤカーで、まわって歩いた建場(たてば)『くず屋』の問屋(所属の買出人に代わり、主として新聞用紙を扱い、小型トラックによつて収集し、大きな製紙原料問屋に行きます。現在の家庭屑紙の主要な回収ルートです。



消費生活  
アドバイザー  
佐藤祐一郎

プラスチック製レンズは高温が大敵!

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。長い梅雨が明け、た途端、厳しい暑さに見舞われた今年の夏でしたが、変わりなく元気に過ごしていらつしやいますでしょうか?

毎年この時期になると、体は元気でも、メガネのトラブルでご相談に来られるお客様が増えてまいります。一つは、フレームに使われているネジが腐食したり、丁番可動部の動きが極端に硬くなる症状です。原因は、汗や塩分、湿気の影響と思われる。ほとんどの場合は当店で分解清掃や部品交換を行い、お直しできます。もう一つは、メガネレンズに細かい傷が無数に入ってしまった、見えづらくなってしまふ症状です。衝撃を与えたわけでもないのに何故?とお問い合わせ頂くのですが、原因は高温である場合が多いようです。プラスチック製のレンズは、車の中や砂浜、サウナといった高温の環境に弱く、レンズが変形したり、表面のコーティングにヒビが入ってしまいます。熱湯でレンズを洗ったり、ストーブ、焼肉コンロやホットプレート、タバコの火などにうっかり近づけることも同様に危険です。高温で損傷したレンズは、残念ながら修復することはできません。再びメガネをお使い頂くためには、新しいレンズをご購入頂き入れ替える必要があります。どうか、ご注意ください。

引き続き、当店では感染症対策を実施して、皆様のご来店をお待ち申し上げております。公式ホームページもぜひご覧下さいませ。期間限定でお得な情報を掲載いたします!



■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>  
南千住5の43の13【東京新聞並び】  
TEL 03(3806)4930

◎毎日、午後4時以降は「予約優先」です。ご来店予約は、当日までお電話にて承ります。なお、予約なしでも当日受付いたしますが、状況によりご来店をお待ち頂く場合がございます。

★休業日のご案内★

8月・9月...毎週火曜定休です。

★営業時間のご案内★

平日(月~金) ...午前9時~午後6時30分

土休日: 午前10時~午後5時